

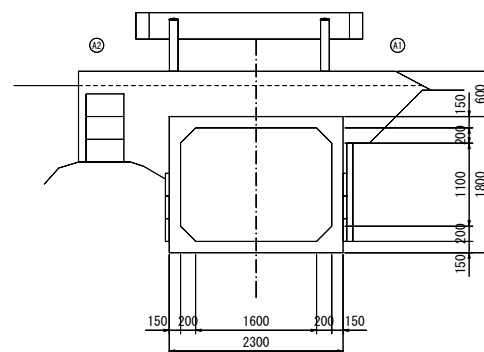
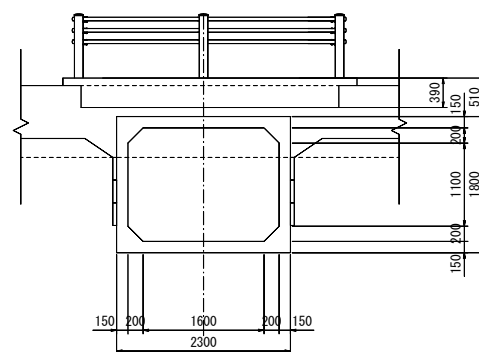
カソイ橋 修繕工一般図

側 面 図

S=1:50

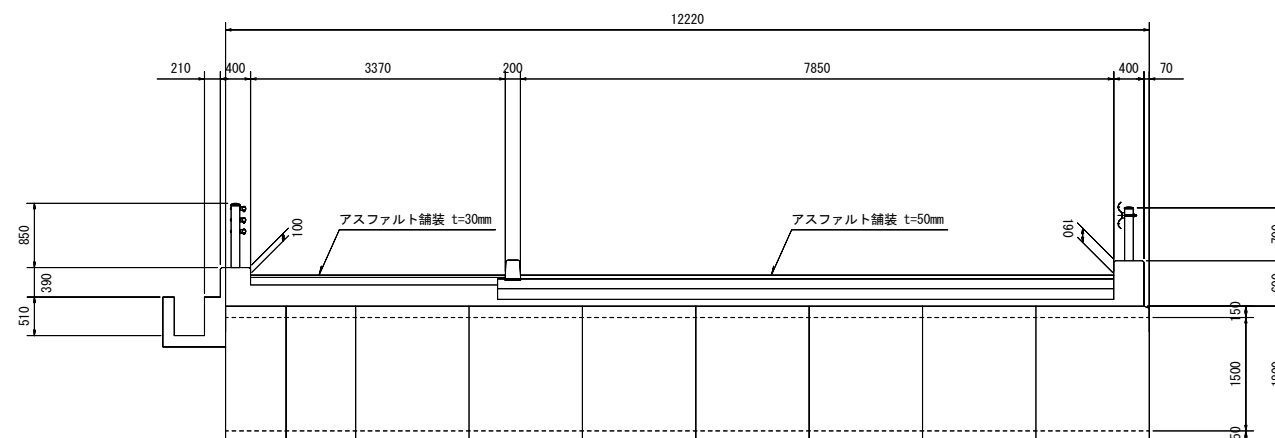
(上流側)

(下流側)



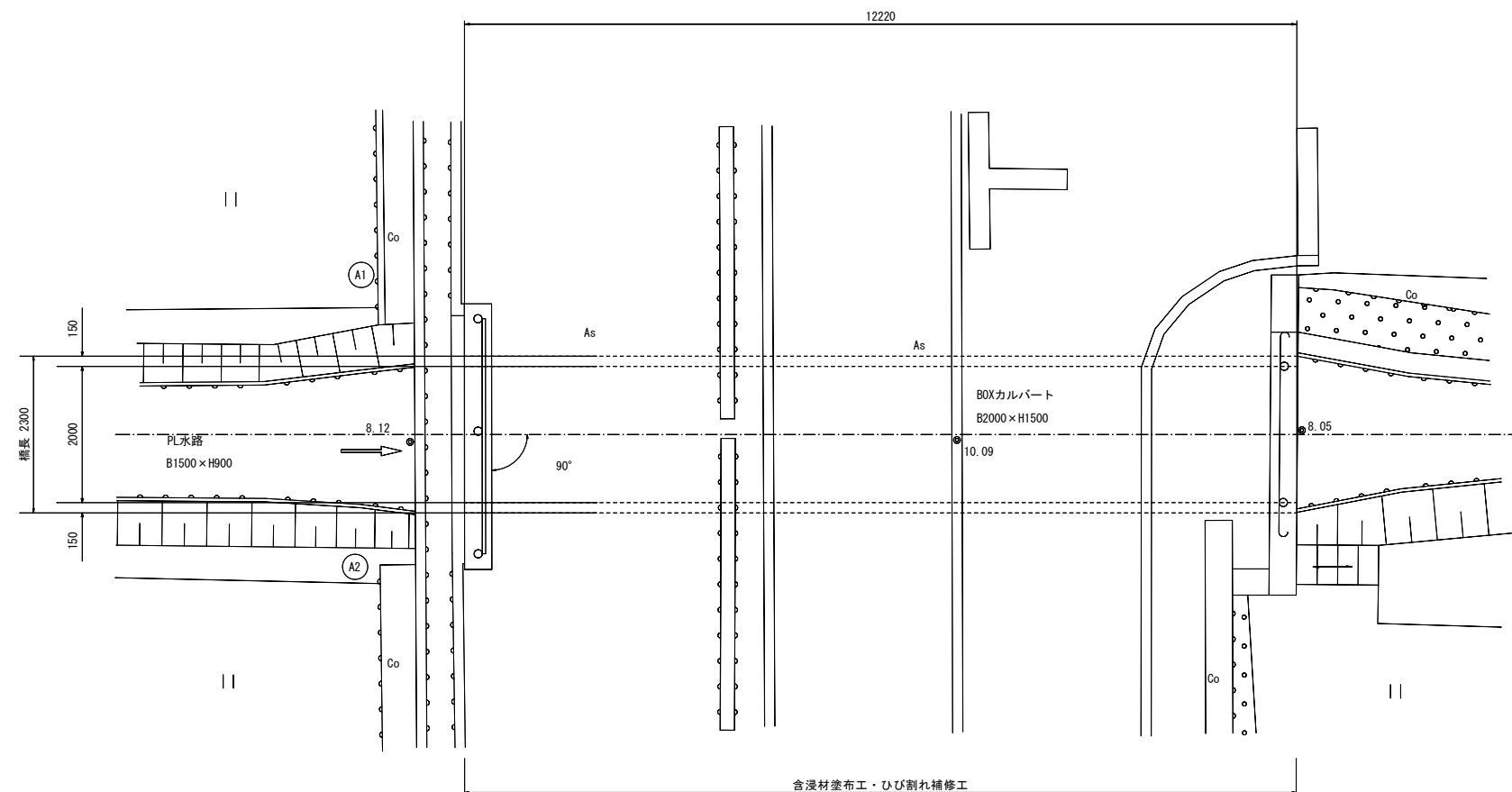
断面図

S=1:50



平面图

S=1:50



設計条件

上 部 工 部	橋 格	-
	上部工形式	ボックスカルバート
	橋 長	2.30m
	桁 長	-
	支 間 長	-
	全 幅 員	12.220m
	有効幅員	11.420m
	斜 角	$\theta=90^{\circ} 00'$
	床 版	-
	舗 装	アスファルト舗装
下 部 工	支 承	-
	橋 台	-
	橋 脚	-
	基 礎	-

工 事 名	カソイ橋 橋梁修繕工事		
図 面 名	修 繕 工 一 般 図		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	2 葉之内
会 社 名	(公財)三重県建設技術センター		
事務所名	玉 城 町		

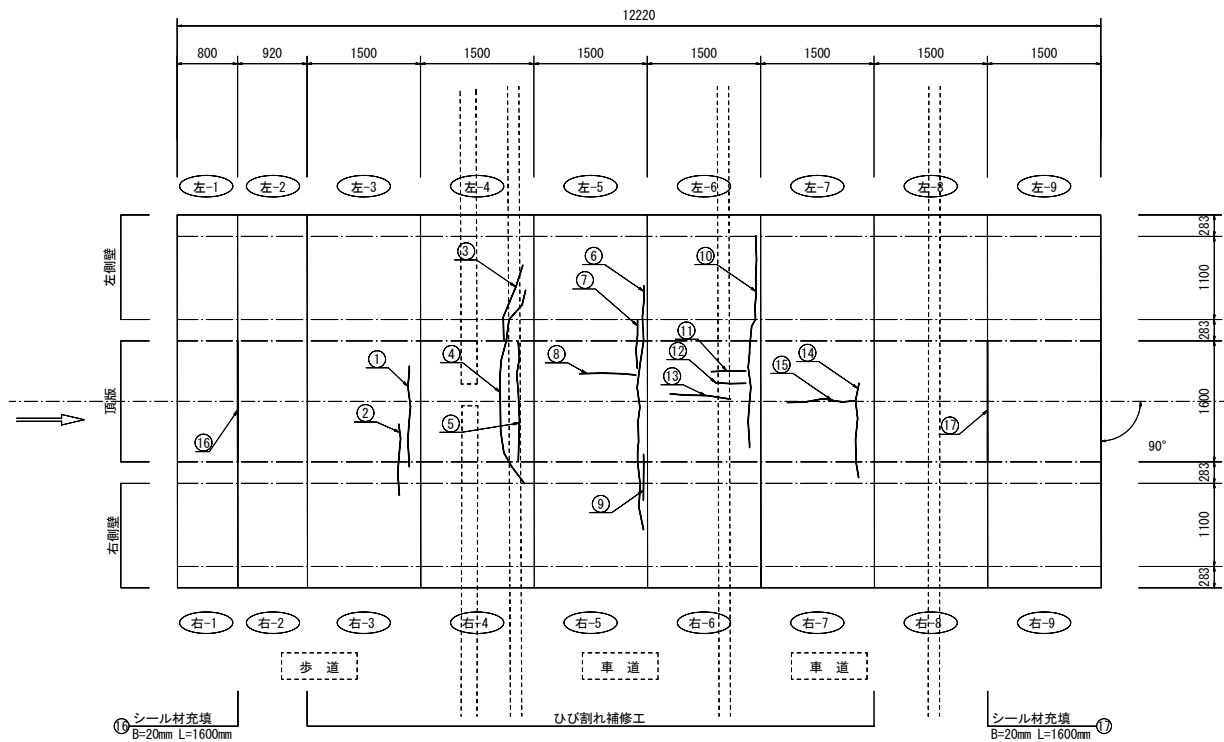
注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。

修繕工詳細図

表面含浸材塗布工

展開図

S=1:50

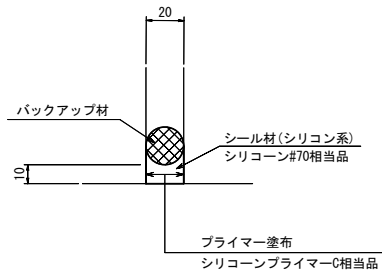


ひび割れ補修 形状寸法

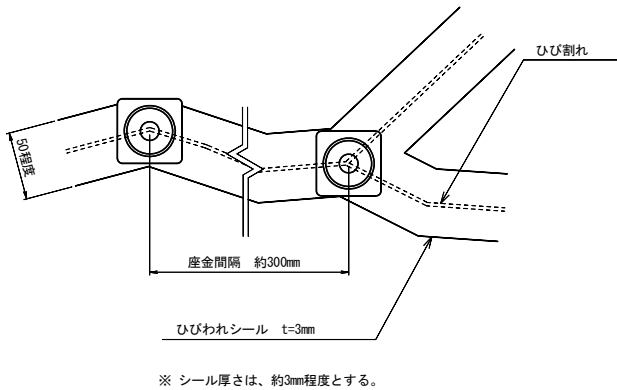
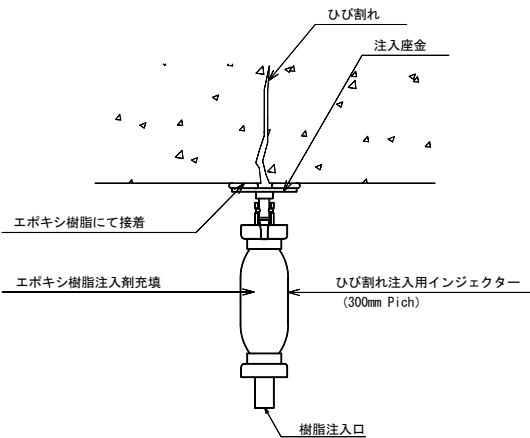
BOX通し番号	番号	W (mm)	L (mm)
3	①	0.3	1350
	②	0.3	900
4	③	0.3	1000
	④	0.7	2500
	⑤	0.5	1600
5	⑥	0.7	3200
	⑦	0.3	640
	⑧	0.3	700
6	⑨	0.4	600
	⑩	0.5	2700
	⑪	0.3	450
7	⑫	0.3	400
	⑬	0.3	800
	⑭	0.3	1200
	⑮	0.3	1000

シーリング材充填図

S=1:2



ひび割れ補修詳細図

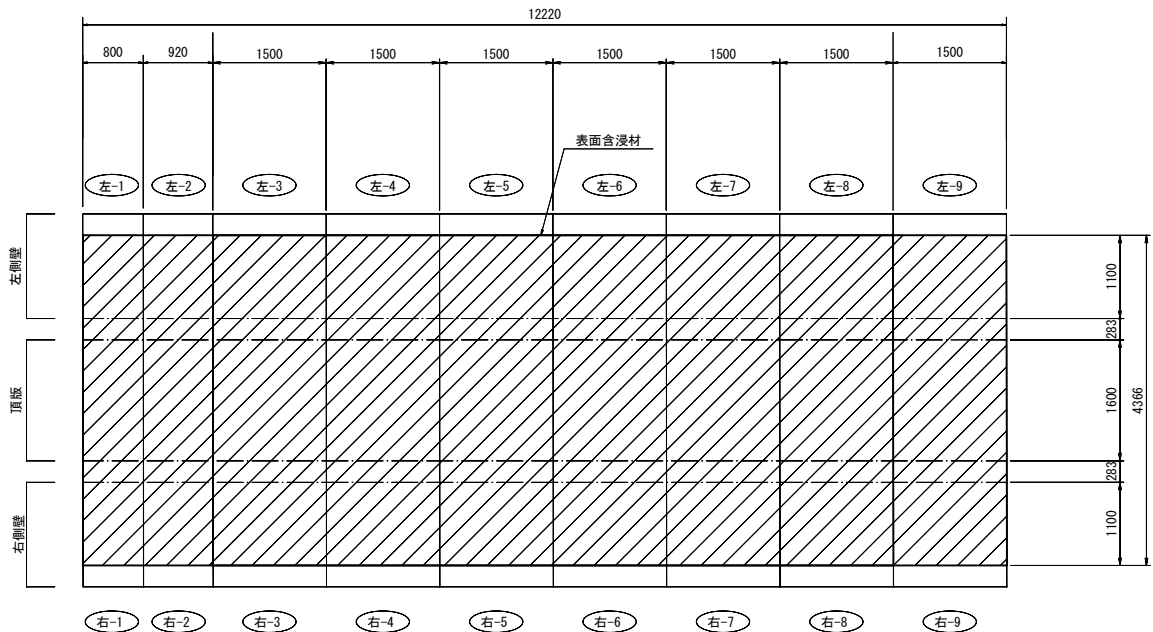


※ ひび割れ部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。

表面含浸材塗布工

展開図

S=1:50



表面含浸材塗布工

	規格	数量	備考
下地処理工		53.4 m2	
含浸材塗布工		53.4 m2	
含浸材	シラン系	10.7 kg	(標準塗布量)

※ 含浸材は、塗布面の処理として下地処理等を施した後に施工すること。

注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。

工事名	カソイ橋 橋梁修繕工事		
図面名	修繕工詳細図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	2 表之内 2
会社名	(公財) 三重県建設技術センター		
事務所名	玉 城 町		